事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

6名回答

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		現状を工夫して活用している。 使用できるスペースを活用して、活動内容を工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		10人定員に対して6人配置している。 曜日によっては、配置人数では補えていない部分もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内はバリアフリーになっている。 玄関など、車イス移動の際に不便を感じることがあり、改善が必要と感じる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の申し送りの際に、スタッフ間で情報を共有し、支援の方向性を確認している。業務終了後は、ケース記録記載にあたり、職員同士でその日の振り返りをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施し、保護者からの意見を取り入れて業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			年に一度、第三者委員より、公表を頂いている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月職場内研修が行われており、参加している。 研修に参加し、資質の向上を図っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズの把握に努め、職員間で話し合いの場を設け、半年毎に個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			相談支援専門員と連携し、必要な情報を整理している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動内容については、日々の打ち合わせで話し合いを行っている。月ごとに担当職員を決めチームでの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日で活動プログラムを組んでいる。季節や利用者に応じて活動の内容を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			事前に話し合いを行い、長期休業中のプログラムを設定出来るようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の実態や活動内容に応じて、活動の場を分けるなど適宜行われている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日打ち合わせを行い、活動内容の確認、各担当等の確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には、職員間でその日の支援を振り返り、ケース記録に記載している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の支援を共有し、確認しながらケース記録に反映している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回モニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			今後、地域交流の機会を増やしていきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所と連携をし、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加している。会議の内容を申し送り時に職員間で共有している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			随時、学校側と連絡を取り合い、情報交換をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、対象の児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			同じ事業所内で、就学前の児童を対象とした児童発達支援事業と療育訓練を行っている。希望のある保護者に対しては情報提供を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			移行施設と連携を図りながら、情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修等に参加し、専門機関との連携を図っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナや感染症の影響もあり、開催は難しかった。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			児童支援部会に児童発達支援管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳でのやり取りや、送迎、お迎えの際に、その日の活動の様子や、利用者の様子を保護者に伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングとしては行ってないが、利用者の様子を保護者と共有し、悩み事や課題について寄り添う事ができるようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、重要事項説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば面談の時間を設けている。相談支援専門員にも入ってもらい、助言等を頂いている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者交流会としては設けていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決委員会を設けている。苦情解決処理要綱に則り対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業の会報は年発行している。活動・行事予定等はその都度、保護者にお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関しては十分に注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々のケースに配慮出来るように、伝達ツールを工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所の祭り開催時には地域の方を招待し交流の機会を設けていたが、感染症の影響で今年度は難しかった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			研修等に参加し、正しい対応が出来る様に学びの機会を設けている。施設内研修等で職員間で周知できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			様々な災害を想定し、年4回の避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置している。虐待防止チェックリストを実施し、職場内研修等で振り返りを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束については職場内研修等で周知している。 現在、対象の児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在、対象の児童がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日々の小さな事でも、ヒヤリハットを記録に残し、その都度職員間でも話し合いをし、対応を考えている。